

九州大学第三段階教育研究センター主催 文部科学省委託

「平成26年度 成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」国際セミナー

第三段階教育における質保証と教育スタッフ 日・独・豪の比較考察をもとに

Quality Assurance of Tertiary Education and Teaching Staff

—Comparative approaches from Germany, Australia and Japan ?

2011年中央教育審議会「キャリア教育・職業教育」答申を踏まえ、本年7月教育再生実行会議第五次提言において、新たな機関創設がアナウンスされました。大学・短大・高専・専門学校すべての第三段階教育機関が職業教育を充実させていくとともに、新たな複線型制度を構築する、その鍵となる機関創設であり、日本の教育制度発達における大きな節目となるともみられます。

現在その具体的な検討が始まっていますが、その教育の質保証における議論の中核には「教育スタッフ」のあり方という課題があります。そこで、本セミナーでは、複線型第三段階教育体系における教育の質保証の観点から、教育スタッフの保有すべき資質について、とりわけ学術的教育モデルと職業教育モデルを対比しながら議論していきます。

そのため、一方では実務卓越性を前提としながらも専門大学などでアカデミックな学位を標準的な要件としているドイツから、また他方では職業教育のための固有の教員資格を設定・開発し、その普及を図ってきたオーストラリアから、それぞれ第一人者の先生方を招聘し、講演をいただき、国内の専門研究者とともに我が国の改革の方向性をめぐる総合的な検討を行います。

なお、本セミナーは、文部科学省「平成26年度成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」において、九州大学が受託する「グローバルな中核的専門人材養成」プロジェクトの一環であり、九州における産官学関係者によるコンソーシアムとして、あらたな第三段階教育機関の創設にむけて、幅広い議論をしていきたいと考えています。どうぞ皆様ふるってご参加ください。

記

1.開催日 平成26年11月15日（土）10:30～17:30

2.会場 TKP 天神駅前シティセンター（福岡市中央区天神）

3.定員 90名

4.プログラム概要（日英同時通訳付き）

基調講演者

稲永由紀（筑波大学・大学研究センター・講師）

ウルリッヒ・タイヒラー（独・カッセル大学・教授）

バーウィン・クレイトン（豪・ビクトリア大学・就業関連学習研究センター・センター長）

パネルディスカッション・パネラー

ウルリッヒ・タイヒラー、バーウィン・クレイトン、稲永由紀、

ヒュー・ガスリー（豪・ビクトリア大学・就業関連学習研究センター・上席主任研究員）

潮木守一（筑波大学・大学研究センター・客員研究員）

沼口博（大東文化大学・文学部・教授）

杉本和弘（東北大学・高度教養教育・学生支援機構・准教授）

5.参加費 無料（懇親会・6,000円程度）

6.主催 九州大学第三段階教育研究センター（センター長 吉本圭一）

7.申込み 九州大学第三段階教育研究センター内文部科学省委託事業（EQGC 研）

事務局長志田秀史

Tel/Fax 092-642-4165 e-mail: eqgc2014@edu.kyushu-u.ac.jp